

全道議員研修会レポート

令和元年6月25日(火)札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議長会主催の全道議員研修会が開催され、議員9名が参加しました。

全道から町村議会議員など関係者が約1,500人集まり、講師2名の講演による研修をしました。

講演①「どうなる？今後の日本政治」

講師：政治評論家 有馬 晴海 氏

- 現在の日本の問題は、少子高齢化・資源不足と、財源不足であり、毎年、国債で補てんしている現状である。
- 人口が急激に減っており、人手不足になるので、補完するために人工知能の活用が進んでいく。
- 国（町）の人口減少は、致命傷であり、議員各位には、「生まれてよかったと思える国（町）づくり」のため頑張っていたきたい。



有馬 晴海 講師



佐々木 信夫 講師

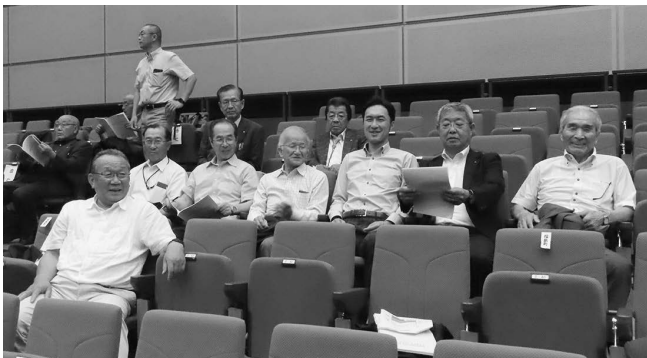
講演②「地方は変わるか

～議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか～

講師：中央大学名誉教授 佐々木 信夫 氏

- 日本は2つの国に分かれている。東京国と地方国である。
- 日本の国づくりは、第2次世界大戦前までは「強い国づくり」、第2次世界大戦以降は「豊かな国づくり」を目指しているが、今後は「楽しい国づくり」を目指すべき。
- 今、政治と行政に求められることは、町を維持し、これからも住み続けるために「町の近代化を終わらせる」ことではないか。

議会では「議会議員研修条例」を定め、研修に参加した議員は、成果報告書を議長へ提出し、定例会で報告されます。今回の研修については、「定例会9月会議」で報告する予定となっております。



研修に参加した議員



会場の様子